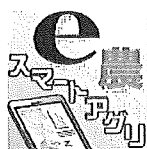


遠隔操作で環境制御 ニッポーが新サービス



環境制御機器メーカーのニッポーは12月3日から、ハウス栽培に活用する統合環境制御盤の省力化対策として、クラウドサービス「アイファームクラウド」を新たに提供する。スマートフォンやタブレット端末を用い、制御盤を遠隔から管理・操作できるようにするのがポイント。施設園芸農家がハウスに行く時間や手間を減らすことができる。

新しく始めるサービス

は、同社の統合環境制御盤「ハウスナビ・アドバンス」と連動させて活用するもの。「ハウスナビ・アドバンス」には、天窓や暖房機などといった機器を相互に連携させることで、気温や湿度、二酸化炭素といった栽培環境を自動制御する機能がある。

「アイファームクラウド」は、スマホやタブレット端末に搭載された一般的なウェブブラウザ上で「ハウスナビ・アドバ

ス」を操作するものだ。自宅や外出先からでも、ハウスの状況をリアルタイムで把握し、制御盤の急な設定変更ができるようになる。

また、地域の生産者グループで栽培データの共有も可能。グループ内で比較することで、栽培上の問題点に気付いたり、対策を話し合ったりできる。

また、他社の製品で計測したデータの集計・比較ができる機能を備える。

料金プランは、機能に応じており、環境モニタリングプラン（月額1200円）や環境モニタリング・遠隔操作プラン（同2800円）などの3通りとする。